

第16期生募集開始

実践！ TPSに基づくフォアマン育成研修

2026年 **4** 月 **22** 日（水）開講

製造現場の DX・IoT 活用という前に



信頼性の高い現場づくりに必要な5大任務のポイントに焦点をあてた6日間のプログラムです。

こんな問題で困っていませんか？

- 現場管理のポイントがよく分からず、不良や設備故障対応に非常に多くの時間を費やしている
- DX や IoT 活用を進めたいが、運用する監督者が育っておらず手段だけが目的化してしまっている
- 多能化や人材育成も急務だが、進め方が分からずまた、そのための時間も確保できない

point 1

ものづくり現場を管理していく上で必要となる5大任務（安全・品質・生産・原価・人材育成）の要点について詳しく解説

point 2

座学だけでなく体感型実習や優良企業のベンチマークを通して、現場の管理について学ぶ

point 3

研修間の約2か月で研修で得た知識をベースに、自職場での問題解決に取り組み、実際の現場で活かせるスキルを習得

上位方針

自職場のあるべき姿

現状

投入できるリソースを正しく把握

物

人

金

情報

時間

課題を5大任務別に把握

安全

品質

生産

原価

人事

職場リーダーによる優先順位付け

優先度

カリキュラム

問題解決シートを活用し、研修間の約2か月で実践・発表

第1単元

第2単元

第3単元

第4単元

第5単元

第6単元

トヨタ生産方式の基本的な考え方

- TPSの基本姿勢と狙い
- TPSの2本柱
- ムダ排除による原価低減
- グループワーク
- ジャストインタイム体感シミュレーション

問題解決の進め方

- 問題発見の視点
- 真因追究の進め方
- 5回のなぜの留意点
- 対応と対策の違い
- 派生問題の解決

管理監督者の共通する役割

- 環境変化への対応
- 技能系職場のあるべき姿
- 職務基準(5大任務)
- リーダーとして必要な能力・人間力

品質

- 品質に対する考え方
- 製造部門の役割
- 初期管理、日常管理
- 品質を工程で造り込むには

グループワーク

- 品質の感性を磨く

安全

- 監督者の役割
- 指導、監督の方法
- 設備、作業場所の保守管理

発表

- 品質・安全についての重点実施項目と実際の取組み内容について発表

生産

- 小ロット生産の為の段取替え改善
- かんばんの役割
- 生産工程の流れ化
- 標準作業と職場管理

グループワーク

- VTRによる動作改善

原価

- 原価に対する考え方
- 原価管理の3本柱
- 原価低減目標と維持改善
- 材加不管理

発表

- 生産・原価についての重点実施項目と実際の取組み内容について発表

保全

- TPSとTPM活動
- 生産そのものを保全する
- 自主保全の進め方
- 予備品管理

グループワーク

- 自転車の整備

人材育成

- 教える前の準備
- 教え方の4段階
- カンコツの教え方
- 訓練予定表、作業要領書

グループワーク

- 作業要領書の作成

発表

- 自主保全についての重点実施項目と実際の取組み内容について発表

工場見学

- TPSと現場管理の展開事例研究

発表

- 人材育成についての重点実施項目と実際の取組み内容について発表

職場づくりとコミュニケーション

- 部下の捉え方、監督者の視点
- 人に関する職場問題の未然防止
- 意欲を向上させる方法
- 職場問題の扱い方4段階法

グループワーク

- リーダーシップ研究事例『京田君の反発』

講師によるまとめ

- 5大任務(事例)
- 職位別の具体的な職務基準
- 職能育成シート
- 総合質疑応答

参加者の声



研修に参加して、現場の日常管理について「5大任務」という視点で学びました。問題解決シートを使って、学んだテーマについて研修間に職場で実践し、次回に発表する流れが「やりっぱなし」で終わらず良かったと感じています。問題解決シートで改善を進める中で、管理者への報告も結果だけでなく、プロセスで考える様になりました。結果として、現場でのコミュニケーションが多くなり、班員からの相談も増え、良い改善のサイクルが回るようになってきたと感じています。(C社K様)



安全・品質・納期…何から手を付けるべきかが曖昧で、場当たり的になっていました。他社のやり方も見たことがなく、改善の進め方がマンネリ化していました。問題解決シートでの実践や他の方々の発表を通して、5大任務ごとの改善の進め方の方向性が見えてきたと感じます。また、職場づくりとコミュニケーションの回があり、自分の指示の出し方や環境づくりの部分で改善の余地があると感じました。工場見学にて実際の管理の現場を見学させて頂き、自社とのギャップが大きかったです。また、研修でのグループディスカッションを通じて、他の参加者の現状を知る事もできましたので、自社で改善を進めていきたいと思えます。(N社S様)

- 日時：第1单元 4月22日（水）／第2单元 6月24日（水）／第3单元 8月26日（水）
第4单元 10月21日（水）／第5单元 12月23日（水）／第6单元 2月24日（水）
（全6回）各日9:30～17:00
- 会場：中産連ビル（名古屋市東区白壁3-12-13）
- 講師：一般社団法人中部産業連盟 委嘱コンサルタント 高松 秀司 氏
- 対象：製造部門監督者
- 申込：下部お申込書をご記入の上FAX・メールいただくか、当連盟HPよりお申込みください

「フォアマン育成研修」参加要項／参加申込書

参加費 （1名様）	中産連会員 158,400 円（税込） ／ 中産連会員外 178,200 円（税込）
申込方法	下記申込書に必要事項を記入の上、切り取らずに FAX(0120-342-740) にて お申込みいただくか、中産連ホームページ (www.chusanren.or.jp) よりお申込みください。 ※前日・当日のキャンセルはご容赦ください。ご参加者のご都合が悪くなった場合は、 下記担当者までご連絡ください。 ※コンサルタント及び教育機関の方のお申込みはお断りしております。ご了承ください。
お支払い	請求書・受講票を開催日2～3週間前に申込責任者宛に発送いたします。

所属部署・役職	氏名（フリガナ）	メールアドレス

会社名			
住所	〒		
申込者 責任者	所属・役職名	氏名	
	E - m a i l	T E L : F A X :	
会社概要	業種（主要製品名）	資本金	従業員数

今回で記入いただいた個人情報は、研修等の運営・情報提供（郵便、メール、FAX等）においてのみ使用致します。
詳細は、HP(http://www.chusanren.or.jp/14privacy/privacy_policy.html) をご覧いただき、同意の上、ご協力お願い致します。
関連情報の提供が不要の場合、下記にレ点をご記入いただき、当連盟までご連絡ください。□ セミナー等の情報提供を希望しない